

2007年5月

2007年度東地区部会研究講演会のご案内

東地区部会
東地区部会研究部

総会当日の午後、下記のように「研究講演会」を開催いたしますので、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

記

2006年6月28日、文部科学省科学技術学術審議会学術分科会から「学術情報基盤としての大学図書館等の今後の整備の在り方について（中間報告）」が発表されましたが、その中で、大学図書館におけるサービスの問題点として「高度の図書館サービスを提供するためには、図書館職員としての専門知識と経験のほか、特定の専門分野についての高度の知識を持つサブジェクトライブラリアンが、レファレンスサービス、情報資源の組織化や選書等において、専門性を発揮する必要がある。また、図書館職員には伝統的な図書館業務に関わる理念と知識、技能に加え、情報通信技術の活用と人的サービスを行うコミュニケーション能力を持った、いわゆるデジタルライブラリアンともいうべき人材も求められるが、現在の大学図書館には、そのような人材は少なく、その有効活用や人材育成への取組みも十分に行われていない状況である。」ということが指摘されています。

この点については、現在、多くの大学図書館において認識されてはいるものの、なかなか有効な解決策が見出しにくいというのが現状ではないでしょうか。

つきましては、まず大学図書館に求められているこの2つのライブラリアン像についての理解を深め、その上で今後大学図書館が進むべき方向性を模索するきっかけとなればという期待のもとに、今回の研究講演会の研究テーマに設定することにいたしました。この問題について、皆様とともに検討し、論議を深めていきたいと考えております。

日時	2007年6月22日(金) 13:45~16:45		
場所	国際基督教大学 ディップフェンドルファー記念館 東棟1Fオーディトリウム		
講演	「サブジェクト・ライブラリアンと大学図書館」 京都大学医学図書館 呑海沙織氏 「司書のキャリア開発から考えるデジタル・ライブラリアンの育成」 慶応義塾大学文学部 教授 糸賀雅児氏		